

## 普及活動検討会実施報告書

巨理農業改良普及センター

実施月日：令和2年9月9日

実施場所：巨理町内、巨理農改会議室

## 1 検討内容

No	検討項目
1	現地視察「にこにこベリーほ場（巨理町）、結成果樹園（巨理町）」 令和2年度普及指導計画について プロジェクト課題の取組状況について ①新品種「にこにこベリー」導入定着によるいちごの安定生産（プロジェクト課題NO3） ②「シャインマスカット」の栽培技術力の向上による生産拡大（プロジェクト課題NO4）
2	
3	

## 2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	3	マスコミ	
農業関係団体	2	民間企業	

## 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
普及計画 について	4.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>巨理地域の特性や課題を的確に捉えた普及指導方針に基づき、プロジェクト課題が設定されている。</li> <li>活動内容は実践的で、現場ニーズに即している。</li> <li>達成には時間がかかるので、長い目の普及も必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題の把握に努めながら、課題設定にあたっては、今後も関係機関や農業者等の支援ニーズを把握し、地域連絡調整会議等において関係者の合意を得ながら進めます。</li> </ul>
検討項目1 （プロ課題 NO3）につ いて	4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代の担い手の新品種へのチャレンジを、積極的に普及員が支援しており評価出来る。</li> <li>アンケート調査を通じた技術支援や導入モデル構築等、生産者の実情・実態を踏まえた活動である。</li> <li>新品種の市場ニーズや収益性についての評価や食味の安定についても対策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頂いた評価を参考に、「にこにこベリー」の特性への理解が浸透するように活動を展開していきます。</li> <li>アンケート結果や生産者の実情を踏まえながら、品種ごとの作付け計画策定を支援していきます。</li> <li>新品種の情報発信を行い、ブランド化についても関係機関や生産者とともに進めていきます。</li> </ul>
検討項目2 （プロ課題 NO4）につ いて	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な栽培技術を要すると思われそうですが、農業者と伴走しながら支援をされている印象を受けました。成果も着実に伸びており、生産拡大が期待されます。</li> <li>現在は個々に取り組んでいる生産者がこの取組を通じ、栽培技術だけでなく、相互のネットワーク構築につながる活動展開となっている点が評価出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な栽培講習会や生育調査結果をもとに、栽培技術の定着を支援します。</li> <li>関係機関と連携しながら、栽培希望者の掘り起こしを行い生産拡大を支援するとともに、消費者・実需者への産地PRについても進めていきます。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化については、地域の商工業者との連携やストーリーの掘り起こしが必要不可欠と考える。</li> <li>コロナ渦によりこれまでの手法の変化が求められている。栽培部門も今後はAI等の先端技術の応用も見通していくことも必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頂いた評価を参考とし、活動成果があがるよう、関係機関との情報共有や役割分担を図りながら、効率的・効果的な普及活動を展開していきます。</li> <li>コロナウイルスの感染拡大防止と普及活動の展開の両立に向けて取り組んでいきます。</li> </ul>